

# 経済日誌

8月

P=ポイント

国 内		県 内	
3日	<b>2021年上半期農林水産物・食品輸出額5,773億円</b> 2021年1～6月の農林水産物・食品の輸出額(含む少額貨物輸出額)は前年比31.6%増の5,773億円。主な増加品目はアルコール飲料で256億円の増加。主な減少品目はなまこ(調製)で13億円の減少。	1日	<b>延岡市、電子版地域通貨「のべおかCOIN」運用開始</b> 延岡市はスマートフォンなどの携帯端末を利用した電子マネーを使用し、市内加盟店で買い物ができる地域通貨「のべおかCOIN」の運用を開始。支払額100円につき1ポイント還元される。
4日	<b>2021年人口動態調査、外国人住民7年ぶりに減少</b> 2021年1月1日現在の住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数では、日本人住民の人口は前年比0.34%減の1億2,384万人。外国人住民の人口は同1.92%減の281万人と7年ぶりに減少。	5日	<b>本県、2020酒造年度本格焼酎出荷量日本一</b> 日本酒造組合中央会調査によると、本県の2020酒造年度(2020年7月～21年6月)の本格焼酎出荷量は11万6,625キロリットルと前年度比5.9%減少するも7年連続の日本一。
6日	<b>6月景気動向一致指数、2カ月ぶりに上昇</b> 6月の景気動向一致指数(速報値、2015年=100)は前月比1.9P上昇の94.0と2カ月ぶりに上昇。景気動向一致指数の基調判断は「改善を示している」。	6日	<b>宮崎市、ぎょうざ1世帯当たり購入額上半期全国1位</b> 2021年1～6月の家計調査で、宮崎市が1世帯当たりのぎょうざ購入額で全国1位となり、上半期においては2年連続で1位。2020年の年間では浜松市、宇都宮市に次ぐ3位。
6日	<b>6月家計調査、消費支出前年同月比5.1%減少</b> 6月の家計調査では、消費支出(2人以上の世帯)は1世帯当たり26万285円。物価変動を除いた実質での前年同月比は5.1%の減少。エアコンなどの家庭用耐久財の減少が影響。	10日	<b>本県最低賃金答申、2002年度以降で最高の821円</b> 宮崎地方最低賃金審議会は、本県の最低賃金を現在の793円から28円引き上げ、821円とするよう宮崎労働局長に答申。引き上げ額は2019年度と並び過去最大。
10日	<b>7月景気ウォッチャー調査、景気の現状判断指数48.4</b> 7月の景気ウォッチャー調査で、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は前月比0.8P上昇の48.4。家計動向関連指数は上昇したが、企業動向関連、雇用関連の指数が低下したことから小幅上昇となった。	10日	<b>県内MICE延べ参加人数、過去最少</b> 2020年度に県内で開催された学会や企業の会議などのMICE(マイス)の延べ参加者数は前年度比96.7%減の4,838人と、1997年度の統計開始以来、過去最少。
10日	<b>7月全国企業倒産件数、50年間で最少</b> ㈱東京商工リサーチによると、7月の全国企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は前年同月比39.6%減の476件。7月では1972年以降の50年間で1990年の482件を下回り最少。	11日	<b>県、独自の緊急事態宣言3度目発令</b> 県は新型コロナウイルス感染拡大の第5波を受け、県全域に3度目となる独自の緊急事態宣言を発令。知事は県内での爆発的感染防止のため、今が最大限のブレーキを踏むタイミングと判断。
10日	<b>2021年上半期国際収支状況、貿易収支黒字に転化</b> 2021年上半期の国際収支状況(速報)は、輸出が前年同期比22.2%増の39兆2,231億円。輸入が同11.6%増の36兆9,089億円となり、貿易収支は2兆3,143億円の黒字に転化。	20日	<b>小林市、アニメ制作会社などと包括連携協定締結</b> 小林市はアニメ制作人材育成やアニメを活用した観光PR等を目的に、アニメ制作会社㈱RICE FIELD(東京都)と小林まちづくり㈱との3者による地域活性化包括連携協定を締結。
18日	<b>7月貿易統計、貿易収支2カ月連続黒字</b> 7月の貿易統計(速報)では、輸出は自動車等の増加で前年同月比37.0%増の7兆3,564億円。輸入は原油等の増加で同28.5%増の6兆9,154億円。貿易収支は4,410億円と2カ月連続の黒字。	21日	<b>九州中央自動車道高千穂日之影道路全線開通</b> 九州中央自動車道の一部を形成する高千穂日之影道路のうち日之影深角インターチェンジから平底交差点の約2.3kmが開通。これにより高千穂日之影道路の約5.1kmが全線開通。
26日	<b>8月月例経済報告、景気の基調判断据え置き</b> 8月の月例経済報告では、個人消費や企業収益の弱さから、景気は「持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している」と4カ月連続基調判断を据え置いた。	26日	<b>県、まん延防止等重点措置対象区域決定</b> 県はまん延防止等重点措置の追加適用を受け、対象区域を宮崎市、日向市、門川町に決定。期間は8月27日から9月12日まで。3市町では飲食店等へ酒類提供の終日停止などを要請。
31日	<b>8月消費動向調査、消費者態度指数3カ月ぶり低下</b> 8月の消費動向調査で、消費者意識指標がすべて低下したことから、消費者態度指数(2人以上の世帯、季節調整値)は、前月比0.8P低下の36.7と3カ月ぶりに低下した。	27日	<b>県、オーシャンドーム跡地を屋外型トレセンへ整備</b> 県はシーガイアオーシャンドーム跡地を、ラグビーやサッカーなどのトップアスリート等の合宿拠点として活用できる「屋外型トレーニングセンター」として整備することを発表。